

学校・課程・コースの実態 広島商業高校・全日制課程	学校の教育目標 1 人と人をつなぎ、多様な力を生み出し、社会に広げる行動的な人材を育成する。 2 みらいを展望し、新たな価値を創造する商業教育を展開し、地域社会と平和に貢献する。	教職員の願い ・協働して諸課題の解決に挑む生徒 ・基本的な生活習慣を身につけた生徒（さわやかな挨拶、時間厳守、正しい服装の着こなし、丁寧な言葉遣いができる生徒）（すすんで清掃活動に務める生徒） ・望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に挑む生徒
生徒の実態 「自立して行動したい」、「社会に貢献したい」など、前向きな生き方を志向する生徒が多い反面、進路実現のための準備を計画的に進めることや、将来就きたい仕事について十分に理解できないこともある。	年度の重点目標 ○学力と専門性の向上 ○人間性の育成 ○働き方の改革の推進	保護者の願い 社会に通用する人間性の育成
地域の実態 広島市全域に及ぶ企業からの教育支援が得られる恵まれた環境がある。		地域の願い 地域に貢献する後継者の育成

総合的な探究の時間の目標（各学校において定める目標）
探究の見方・考え方を働かせ、広島市商ピースデパートによるビジネス活動の中で、地域社会と連携しながら恒久平和と社会貢献の実現に関する課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

（1）ビジネスに関する探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、取引業者等の他者との関わりや協働によって成り立つことを理解しようとする。

（2）ビジネス活動や自己との関わりから問いを見だし、その解決に向けた仮説や調査した情報を基に分析する力を身に付けるとともに、論理的にまとめ、表現する力を身に付ける。

（3）ビジネス活動に関する探究活動について主体的・協働的に取り組むとともに、持続可能な社会を実現するために行動し、恒久平和、社会貢献を実現しようとする態度を育てる。

内 容（探究課題及び育成を目指す具体的な資質・能力）

	1 学 年	2 学 年	3 学 年
探究課題	商業に関する知識・技能を学ぶ 取引業者と連携すること	広島市商ピースデパートを企画、運営していくこと 地域社会から情報を収集し発信すること	広島市商ピースデパート完成学年として、自己の進路選択を行う 各学年と連携し、分業体制の意義を伝える
目指す具体的な 資質・能力	(1) 広島市商ピースデパートを通して商業に関する知識・技能を実践に結びつける力を育てる (2) 物事に進んで取り組む力 (3) 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 (4) 相手の意見を丁寧に聞く力	(1) 広島市商ピースデパートの実践から課題を発見する力や課題解決能力を育てる (2) 目的を設定し確実に行動する力 (3) 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 (4) 自分の意見をわかりやすく伝える力 社会のルールや人との約束を守る力	(1) 広島市商ピースデパート完成型に向けた企画力と情報収集能力を育てる (2) 他人に働きかけ巻き込む力 (3) 新しい価値を生み出す力 (4) 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 (5) ストレスの発生源に対応する力

学習活動 ・会社組織のあり方と物事の決め方の学習 ・全体の役割分担の中での各自の役割の認識 ・働き方の違いの学習と自己の適性の把握 ・デパートで求められている人物像と自己の分析 ・期限を必ず守る段取り力 ・分業体制における横の連携の必要性和協調性 ・顧客に対して訴求力のある販売計画と店舗設計 ・商業活動の実践に必要な平和な社会の大切さ ・実践したことを文章にまとめる振り返り活動	指導方法 ・グループごとや2人一組など協働的な学習活動を充実 ・異年齢集団による学習活動を充実
	学習の評価 ○自らが進んで行動し、協調性を持って他人と力を合わせて物事を作り上げることができる。 ○他人の主張に耳を傾けるとともに、自らの気持ちを相手に伝えることができる。 ○さわやかな挨拶を心がけ、時間を守って行動し、TPOに応じた行動をすることができる。

指導体制
・各クラスは、担任と副担任の複数指導体制
・その構成は、普通科教員と商業科教員を1名ずつ配置
・スタッフ活動に従事する生徒には、担任、副担任以外の全教職員による相互支援体制

各教科・科目等との関連
・報告や意見発表などのために簡潔でわかりやすい文章や資料などを作成する力の育成（国語、商業）
・伝えたい内容を図や写真など映像メディアなどで効果的に美しく表現し伝達・発信する（美術、書道、商業）
・ソフトウェアを目的に応じて選択し、表現や発信をする（家庭、商業）
・身近な地域を調査して、仕事に携わっている人の工夫や生き方を考える（地理歴史、公民、商業）
・アンケート集約をする際に、顧客満足度を数理的な分析手法により抽出（数学、商業）
・グローバル化に対応した接客技術を身につけ、全てのお客さまに「おもてなし」の心がある実践を行う（英語、商業）

地域や大学等との連携
町内会や企業、大学等との連携を密に行い、専門的な知識を持つ人材を積極的に活用する。

※作成に当たっては、作成要領を踏まえて、適宜、項目を追加・削除・移動してもよい。